ランチョンセミナー1

協賛：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

全自動輸血検査装置 オーソ ビジョン® のご紹介

講師：柳川 真（オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社 マーケティング本部）

司会：鈴木 朋子（上尾中央医科グループ 東大宮総合病院）

長谷川 卓也（上尾中央医科グループ 上尾中央総合病院）

本邦において 1998 年に初めて全自動輸血検査装置オーソ® オートビュー®（第一世代）を導入し 16 年が経過致しました。その後、行政や医療環境の変化に伴い、輸血部門に求められることも変化してきました。時代の変化に合わせてるように全自動輸血検査装置に期待される要件も変わってきており、弊社では 2004 年にオーソ® オートビュー® Innova（第二世代、以下 Innova）を発売致しました。Innova は、第一世代をお使いのお客様からいただいた様々なご要望点を数多く反映することを目的として開発し、発売後もほぼ毎年ソフトウェアのバージョンアップという形で様々なご要望にお答えするべく改良を続けてまいりました。そして、現在では 600 台を超える設置を全国にさせて頂き、

日々輸血検査の安全性向上の一役を担っています。

また現在、第三世代の全自動輸血検査装置としてオーソ ビジョン® を開発しております。オーソ ビジョン® の開発コンセプトは「Developed by blood banker for blood banker」としており、オートビューをご利用のお客様のみならず、全世界のお客様の声をいただき開発してまいりました。

本学会においては、オートビュー®の歴史を全自動輸血検査装置に求められる機能要件と合わせて振り返りをさせていただき、第三世代のオーソ ビジョン® につきましても概要をご紹介させていただきたいと思っております。